

平成22年度 決算説明書／事務事業評価シート

部局名	建設部
課室名	建設課

予算	款	項	目	決算書
	8	2	1	180 頁

目 名
道路橋梁総務費

事務事業名称
道路橋梁総務事業

1. 概要

目的	県道の事業推進	対象	市民		
事業概要	○道路橋梁総務事業・・・県が実施主体で実施した県道改良工事に係る経費(負担金)				
	区分	負担率	事業費	工事費	負担金(工事費×負担率)
	・地方特定事業	3/20	195,000千円	186,225千円	27,935千円
	・地域振興事業	3/20	46,000千円	43,930千円	6,589千円
	・一般改良事業	3/20	140,800千円	134,464千円	20,169千円
	計		381,800千円	364,619千円	54,693千円
	道路期成会負担金		706千円		
(繰入金)矢田ダム関連地域振興基金繰入金 3,825千円					
(起債)県道改良負担金 47,200千円					
道路台帳作成整備委託料 6,811千円					

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	道路橋梁総務費	県道分担金ほか	負担金補助 及び交付金	63,665	62,883		47,200	10,712	4,971	3
		計		63,665	62,883	0	47,200	10,712	4,971	

2. 指標設定

成果指標	指標名	市内県道改良率の向上		目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	10.7%				総合計画／後期基本計画において、基本施策(3-1-1)の重点施策としているため			
活動指標	指標	a	負担金額	b	市道道路台帳整備	c		d	
	数値	目標	—	目標	—	目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
市内県道改良率の向上	%	74.3 %	74.6 %	75.1 %
		— %	2.8 %	7.5 %

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 負担金額	千円	60,525 千円	40,140 千円	54,693 千円
b 市道道路台帳整備	千円	5,951 千円	5,112 千円	6,811 千円
c				
d				

4. 課題と対応

課題
市内の県道の改良率は平成22年度で75.15%で県下2番目低い。県平均85.4%を目標にする
対応（改善点等）
予算の範囲内で今後協議を重ねながら優先順位を決めて対応する

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

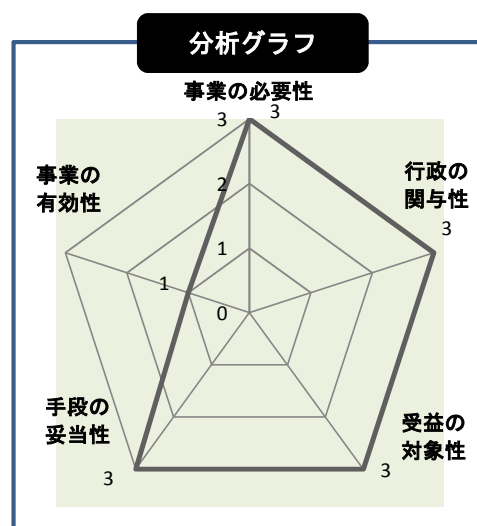
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		68,280	52,474	62,883	65,800
うち経常経費		7,755	6,532	8,190	8,070
財源内訳	国費		2,962		
	県費				
	市債	56,500	37,000	47,200	53,700
	その他	6,182	5,122	10,712	8,237
	一般財源	5,598	7,390	4,971	3,863
うち経常		1,763	1,410	1,303	979
事業費に係る人件費		8,490	8,533	8,759	8,600

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
市内の県道事業を負担金で制限をすると改良が遅れる。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 県道は広域ネットワークを担っている
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 大分県の施行に伴う負担金の支出
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 大分県が市の要望・必要性・緊急性を考慮し対象を選択している
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 県道の起債事業や単独事業を促進により改良率の向上を図る
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	1 改良率の向上達成に20年を要する



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	限られた予算の中で引き続き課題の対応に努めること